

アーティスト・イン・レジデンスさいたま

「アーティスト・イン・レジデンス」は、国内外のアーティストが一定期間その土地に滞在し、作品制作を行う活動です。
制作した作品を見せるだけでなく、制作中の交流を通じて、地域の新たな魅力を育んでいきます。



GAFU-gallery & space- アクセス:さいたま市南区別所3-21-4 武蔵浦和駅徒歩10分
入場無料 予約不要

衛星都市の点つなぎ

滞在アーティスト

北村侑紀佳

滞在期間

2026.1.13火~1.26月

公開制作

1.17土
10:00~17:00

展覧会

1.24土 / 1.25日
10:00~17:00



アーティスト・イン・レジデンス
さいたま WEBサイト

アーティストが2週間にわたってさいたま市内に滞在し、創作活動や地域交流を通じて新たな表現を育む「アーティスト・イン・レジデンスさいたま」。
2026年1月は、北村侑紀佳による歩行と絵画を結び合わせたプロジェクト
「衛星都市の点つなぎ」を展開し、都市と身体の関係性を可視化する表現を探ります。

「衛星都市の点つなぎ」では、「中心と周縁」「輪郭」を主なテーマとして制作を続けてきた作家自身が浦和駅から東京駅までを歩行し、都市の“中心と周縁”をつなぐ記録をもとに絵画を制作します。
また、歩行・写真・絵画・冊子を組み合わせながら、都市と身体の関係性を再構築する展示を行います。



北村侑紀佳 Kitamura Yukika

2000 年 滋賀県生まれ
2023 年 成安造形大学芸術学部芸術学科美術領域洋画コース卒
2025 年 嵯峨美術大学大学院芸術研究科造形分野修了（修士課程）

滞在制作期間

1.13(火)～1.26(月)

オープンアトリエ・プログラム

滞在期間中に公開制作と成果作品の展覧会を行います。
どなたでもお気軽にお越しください。（入場無料 / 事前申込不要）

公開制作

アトリエを公開しながら作品制作を行います。

1.17(土) 10:00～17:00

展覧会

滞在期間中に制作した作品をご覧ください。

1.24(土) 10:00～17:00

1.25(日) 10:00～17:00

会場：GAFU-gallery & space-



大正5年（1916年）創業のフナオカキャンパスが昭和8年に建てた元キャンパス工場をリノベーションし、ギャラリーやレンタルスペースなど「地域交流の場」として活用されている施設です。
長年にわたり画布（油絵に使用するキャンバス）を生み出してきた空間が、今回のアーティスト・イン・レジデンスでは、アーティストの滞在制作や市民との交流を育む拠点となります。



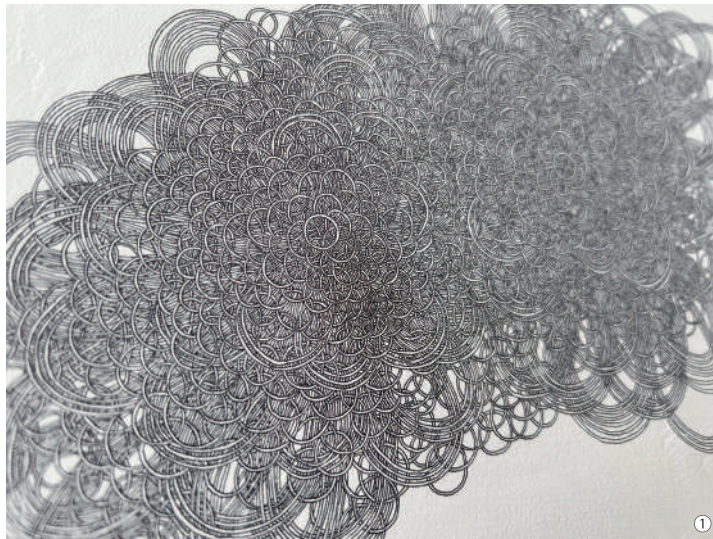
GAFU-gallery & space-
には公共交通機関でお越しください

埼玉県さいたま市南区别所 3-21-4
●JR武蔵浦和駅から徒歩10分
●JR浦和駅 西口からバス約5分
「東の台」下車3分

主な活動歴

2022 年 KUMA experiment vol.5 箱の中の交差点（クマ財団ギャラリー / 東京）
2023 年 新鋭アーティスト発信プロジェクト A-LAB Artist Gate '23（A-LAB / 兵庫）
個展「あなたがここにいてほしい」を開催（同時代ギャラリー / 京都）
2024 年 Kyoto Art for Tomorrow 2024 一京都府新鋭選抜展一（京都文化博物館）
第11回未来展一日動画美術大学学生支援プログラム一（日動画廊 / 東京）
学園前アートフェスタ 2024（浅沼記念館 / 奈良）
2025 年 国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ 2025（旧伴家住宅 / 滋賀）

これまでの作品（抜粋）



①「しじまに潜む星」(2025) ②「幽霊のつくり方」(2023)

【主催・お問合せ】

アーツカウンシルさいたま（公益財団法人さいたま市文化振興事業団内）

〒336-0024 さいたま市南区根岸1-7-1 さいたま市文化センター4階
（火～土 9:00～17:00、日・月・祝日休み、月曜日が祝日の場合、火曜日も休み）

WEB / <https://artsCouncil-saitama.jp/>
TEL / 048-767-5350
Mail / artsCouncil@saitama-culture.jp



滞りの様子を
Xで発信します
(@artsCouncilSITM)

【助成】令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

